

特別養護老人ホーム
介護老人保健施設
介護療養型医療施設
指定訪問介護事業所
訪問看護ステーション
通所介護事業所
通所リハビリテーション事業所
地域密着型サービス事業所
地域包括支援センター
居宅介護支援事業所
介護医療院

御中

一般社団法人富山県歯科医師会
会長 山崎安仁
(公印省略)

令和元年度口腔ケア普及啓発研修会の開催について

日頃より、県民の健康づくりの推進にご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。
さて、令和元年度口腔ケア普及啓発事業として標記研修会を下記のとおり開催しますので、ご案内いたします。
つきましては、関係者への周知について、ご配慮をお願いします。
なお、受講申込みについては、富山県歯科医師会事務局へ申込み（FAX・Eメール）いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 会場・日時

[言語聴覚士(S T)による摂食嚥下訓練]編

	日時	会場	申込期限	定員
①	令和元年10月9日(水) PM7:30~9:00	富山県歯科医師会館 富山市五福字五味原 2741-2	令和元年 9月25日(水)	70名
②	令和元年10月16日(水) PM7:30~9:00	高岡文化ホール 小ホール 高岡市中川園町 13-1	令和元年 10月2日(水)	70名

①と②は同内容です。

[歯科医師・歯科衛生士による口腔機能管理]編

	日時	会場	申込期限	定員
③	令和元年11月7日(木) PM7:30~9:00	富山県歯科医師会館 富山市五福字五味原 2741-2	令和元年 10月24日(木)	70名
④	令和元年11月13日(水) PM7:30~9:00	高岡文化ホール 小ホール 高岡市中川園町 13-1	令和元年 10月30日(水)	70名

③と④は同内容です。

※各会場は70名定員(先着順)となりますので、ご了承願います。

2. 参加費 無 料

3. 申込み先 一般社団法人 富山県歯科医師会 〒930-0887 富山市五福字五味原 2741-2
【TEL】076-432-4466 【FAX】076-442-4013 【Eメール】 post@tda8020.com

4. 申込締切 各会場開催日の2週間前

令和元年度 口腔ケア普及啓発研修会実施要領

1. 目的

高齢化が進展する中、健康寿命の延伸に向け、介護予防重度化予防の観点から歯と口腔のケアは重要であり、それぞれの状況に応じた口腔機能の維持・向上の取組みが必要である。

そこで、要介護状態の方の取組みを推進するために、ケアマネージャー等の支援者と歯科関係者の具体的な連携を促進するとともに、歯科疾患等を早期に発見するために、要介護状態になる以前からの取組みを促進し、歯と口腔の健康作りを通じて、県民の健康を守るとともに、総医療費の軽減を貢献する。

2. 主催 富山県・富山県歯科医師会

3. 対象者 歯科医師・歯科衛生士・ケアマネージャー・介護福祉士・ホームヘルパー・介護施設職員・看護師・その他保健福祉医療関係者

4-1. 研修日程及び内容 [言語聴覚士(S T)による摂食嚥下訓練]編

テーマ「明日から変わる！！ 試したくなる食事介助と直接訓練」

講師：済生会富山病院リハビリテーション科
山本 晃彦 先生（言語聴覚士）

令和元年10月 9日（水）PM7:30～9:00 富山県歯科医師会館

令和元年10月16日（水）PM7:30～9:00 高岡文化ホール 小ホール

I. 開会挨拶

II. 講義

『正常の摂食嚥下機能』 (約20分)

5期モデル（液体嚥下）とは？ プロセスモデル（咀嚼嚥下）とは？

III. 実習

・間接訓練（実技含む） (約30分)

口の中に食べ物が残る方こぼれる方 … 口唇・舌・頬の訓練

喉の奥に食べ物がたまる方 … 前舌保持嚥下訓練

嚥下力が弱い方 … 頭部挙上訓練（シャキア法）

なかなか飲み込むことができない方 … のどのアイスマッサージ など

・直接訓練（実技含む） (約30分)

喉の奥に食べ物がたまる方 … 頸部回旋嚥下、息こらえ嚥下

なかなか飲み込むことができない方 … 嚥下反射誘発促通手技、
メンデルゾーン手技

その人に合わせた食事摂取方法 … 一口量の調整、体幹角度の調整など

IV. 質疑応答 (約10分)

V. 閉会

<抄録>

高齢化が進むなか、年齢や疾患などにより自ら食事を摂ることが困難な方が増えてきています。その方に我々は食事介助を行います。患者ごとに嚥下障害が異なるために個別の食事介助プランを作成する必要があります。

私は病院で摂食嚥下のリハビリを担当しているため、昼食時には患者さんの食事摂取状態の確認のために病棟や食堂に行きます。その中で看護師や介護士が食事介助をしている場面をよく見ます。どうしてこのような体位で食べさせているのだろうか？一口量は？どうしてこの量なのだろうか？どうしてこのような食べさせ方をしているのだろうか？と思います。

正直、介助者によって食事介助（患者さんが食べさせられている）になっている方と摂食嚥下訓練（患者さんが食べている）になっている方がいます。その違いは何なのか？病棟で、よく「食事摂取量にムラがあります。ムセが見られたので食事を止めました。」

「口の中にずっと持っていて飲み込もうとしません。」と言われることがあります。その時、どのように考えたら良いのか？どうすれば良いのか？

今回はそのような食事介助の疑問点を実技に時間を多くとり、一緒に考えて解決できればと思います。

この講演会を聞いたあとに、個別の食事介助プランが作成することができ、皆さんの食事介助が摂食嚥下訓練になればと思います。

済生会富山病院リハビリテーション科 山本 晃彦 先生（言語聴覚士）

<略歴>

福井県出身。福井県の専門学校を卒業後、福岡県の施設にて小児の発達障害や発達嚥下障害のリハビリテーションに従事。その後、石川県の公立病院にて言語聴覚部門の設立し、地域の総合病院として、成人から小児の幅広く言語・嚥下のリハビリテーションを行う。2006年より済生会富山病院リハビリテーション科にて主に成人の嚥下障害を担当し、院内での嚥下サポートチームメンバーとして入院および嚥下専門外来にて従事している。主な資格としては日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士（摂食嚥下障害領域）、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士を取得している。

4-2. 研修日程及び内容 [歯科医師・歯科衛生士による口腔機能管理]編

テーマ「みる目が変わる?! 老化と口腔機能の関わり」

講師：南砺市民病院 歯科口腔外科

木村 依世 先生 (歯科医師)

藤田 成子 先生 (歯科衛生士)

令和元年11月 7日 (木) PM7:30~9:00 富山県歯科医師会館

令和元年11月13日 (水) PM7:30~9:00 高岡文化ホール 小ホール

I. 開会挨拶

II. 歯科医師講義・実習 (木村 依世 先生) (約30分)

- ①口腔機能低下を見極めるための、口腔機能の基礎知識から加齢変化について(講義)
- ②全員参加型の口腔機能のトレーニング(実習)

III. 歯科衛生士講義・実習 (藤田 成子 先生) (約50分)

- ①口腔内の観察方法からケア方法について(講義)
- ②口腔内の観察、簡易評価、口腔ケア(相互実習)
- ③歯科衛生士より在宅訪問診療(口腔衛生管理)の実例について(講義)

IV. 質疑応答 (約10分)

V. 閉 会

<抄録>

高齢化が加速する中、口腔機能低下の予防が健康寿命の延伸に影響していると言われており、従来の口腔内の衛生管理をすることで誤嚥性肺炎を予防することに加え、最近では回復が期待できる早期に口腔機能の低下に気づくことや、口腔機能を維持することが重要であるとされています。

私が在宅訪問診療や院内などの口腔衛生管理に関わり感じるようになったのは、私たち歯科医療関係者は自立した患者さんと接することが圧倒的に多く、自分の思いが伝えづらい、伝えられない要介護者の口腔内の変化に気づけるのは、身近な家族の方や介護者の方々であり、それを歯科医療関係者に繋いでもらえることが大事だということです。

今回は、この日常で被介護者に接しておられる医療関係者の方々に、口腔の機能や老化時の口腔内の変化を学ぶことで「気づきの目」を持って頂き、日常の介護時に役立てて頂ければと思います。

歯科衛生士からは口腔衛生管理のための口腔内の観察方法や実際の口腔ケアについて、在宅訪問診療で介入がうまくいかなかった例や、医療介護者の協力を得て口腔衛生管理を行った例を、連携の流れと共にお話しさせていただきます。また講義の中で、皆さんと一緒に、見て、触って、実際に体験しながら口腔内について考えていきたいと思っています。

南砺市民病院 歯科口腔外科
木村 依世 先生（歯科医師）

<略歴>

富山県高岡市出身。臨床研修終了後、金沢大学附属病院歯科口腔外科に入局。大学病院の業務に加え、他病院で摂食嚥下診療や在宅訪問診療などの高齢者の診療に携わる。2016年から南砺市民病院の歯科口腔外科に常勤医として勤務。口腔外科診療に加え、地域の特性もあり高齢者の診療を中心に在宅訪問診療や特養施設への訪問診療を行う。院内では歯科衛生士らと入院患者の口腔機能の改善に努め、また言語聴覚士らと摂食嚥下診療や多職種でのNSTに参加。

南砺市民病院 歯科口腔外科
藤田 成子 先生（歯科衛生士）

<略歴>

富山県南砺市出身。京都の専門学校を卒業後、富山県内で小児・矯正歯科に勤務。2013年より南砺市民病院歯科口腔外科に勤務し、外来診療から在宅訪問診療、特養施設での口腔ケアを担当する。また多職種が集まる地域ケア会議にも参加し、院内外問わずに患者さんの情報を共有するように活動。

令和元年度 口腔ケア普及啓発研修会申込書
[言語聴覚士(S T)による摂食嚥下訓練]編

〈講師〉 済生会富山病院 リハビリテーション科
山本 晃彦 先生 (言語聴覚士)
〈富山会場〉 令和元年10月 9日 (水) 富山県歯科医師会館
〈高岡会場〉 令和元年10月16日 (水) 高岡文化ホール 小ホール

勤務先

勤務先住所

勤務先TEL

NO	職種	受講者氏名	会場
1			富山 ・ 高岡
2			富山 ・ 高岡
3			富山 ・ 高岡
4			富山 ・ 高岡
5			富山 ・ 高岡

※各会場は70名の定員(先着順)となりますので、ご了承ください。

○申込み先
〒930-0887 富山市五福字五味原2741-2
一般社団法人 富山県歯科医師会
【TEL】 076-432-4466
【FAX】 076-442-4013
【Eメール】 post@tda8020.com
○申込み締切
各会場開催日の2週間前

令和元年度 口腔ケア普及啓発研修会申込書
〔歯科医師・歯科衛生士による口腔機能管理〕編

〈講師〉南砺市民病院 歯科口腔外科
木村 依世 先生（歯科医師） 藤田 成子 先生（歯科衛生士）
〈富山会場〉令和元年11月 7日（木）富山県歯科医師会館
〈高岡会場〉令和元年11月13日（水）高岡文化ホール 小ホール

勤務先

勤務先住所

勤務先TEL

NO	職 種	受講者氏名	会場
1			富山 ・ 高岡
2			富山 ・ 高岡
3			富山 ・ 高岡
4			富山 ・ 高岡
5			富山 ・ 高岡

※各会場は70名の定員（先着順）となりますので、ご了承ください。

○申込み先
〒930-0887 富山市五福字五味原2741-2
一般社団法人 富山県歯科医師会
【TEL】 076-432-4466
【FAX】 076-442-4013
【Eメール】 post@tda8020.com
○申込み締切
各会場開催日の2週間前